第110号（昭和32年2月20日第三種郵便物認可）　広報とちお　昭和41年2月10日発行（2）

多かつた善意の贈り物

歳末たすけあいの結晶

「みんなで明るい正月を」と、さる十二月に実施しました歳末たすけあい運動の結果現金が二十万七千三百二十九円と、織物生地がたくさん寄せられました。内訳は、

同情袋による現金が十六万八千七百四十四円、このほか個人、団体では、栃尾地区婦人会一万一千五百五十円、渡辺録郎（平）一万円、栃尾中学生徒会五千二百二十四円栃堀（匿名）二千円、中萬織物新和会一千三百九十六円、鎌田広吉（土々町）一千二十四円、佐藤照子、信子（旭町）一千二百四円、占部高義（金町）一千円、佐藤達雄（巻潟）一千円、目黒秀平（旭町）一千円、金町運動会実行委員会七百五十円、栃尾わかもの会九百円、大島養次郎（三光）五百円、青木幸作（土々町）五百円、小林礼子（岩神）三百円、島田恒作（大野）二百三十八円織物関係工場（武良、中萬、鍋佐、大権、紺亀、倉与、西川、金石、紺政、下藤、諏佐、丸和、二国、紺竹、倉茂、丸山、浜屋、笠幸、星野、マルマ、杉山、木藤、鈴熊、佐吟、木豊、米太、高浅、喜登明、中与、皆信、栃尾整染、港屋、紺藤、稲正、大広）から反物一、三九五メートルが寄せられました。これらの善意の義援金品は、市内の生活保護を受けているかた（二〇八世帯、五一六人）や長期療養者、各種施設入所者（養老院、児童施設）などにはいつておられるかたに贈りましたものです。

ありがとうございました

三沢市大火にも

さる一月十一日青森県三沢市でおきた大火の被災者にあげてくださいと、次のかたがたから見舞の金品が寄せられました。

稲田カヨ子、ケイ子（檜原）現金百三十円、石田印刷所（下谷内）金石工業株式会社（大野）、荒木ハル（東町）からそれぞれ衣類がよせられたものです。

市では、さつそく寄せられた金品を三沢市へ贈りましたたいへんありがとうございました。（以上敬称略）

乳児と三歳児検診を実施

みんなが受けましょう!!

毎年行なつております乳児と三歳児の検診を下表のとおり実施します。

子供さんの成育は、この乳児から三歳児までが一番たいせつな時期だといわれております。該当する子供さんがおられるかたは、ぜひ検診を受けましょう。

今度の検診該当者は、乳児は、昭和三十九年十月一日から昭和四十年九月三十日までに生れたもの。

三歳児は、昭和三十六年十月一日から昭和三十七年九月三十日までに生れたものです

乳児と3歳児の検診

月	日	検診別	会場
3.	2	乳児検診	栃尾小学校
	3	3歳児検診	東谷小学校
	4	乳児検診	東谷小学校
	7	3歳児検診	栃尾小学校
	8		
	9		
	11	乳児・3歳児検診	荷頃小学校
	15	乳児・3歳児検診	西谷小学校
	16	乳児・3歳児検診	樫出小学校
	17	乳児・3歳児検診	半蔵金小学校
	18	乳児・3歳児検診	東小学校
	22	乳児・3歳児検診	上塩小学校
	23	乳児・3歳児検診	中野俣小学校
	25	3歳児検診	栃尾小学校

時間はいずれも午後一時三十分から午後三時までです。

みんなが心がけよう

暖房器具の取扱い

冬期間は、暖房器具を使うことが多いため火災発生件数も多くなつています。ことにこの期間は、積雪のため消火活動がうまくできません。そのために人命の危険度も高くなりますから、次の点にじゅうぶん注意いたしましょう。

①石油、ガス、電気ストーブコンロなどの取扱いは、家族全員が使用方法を心得ておくこと。

②非常口は、いつも整理しておくこと。

③石油、プロパンなどの危険物の貯蔵、保管は、周囲のものにじゅうぶん注意すること。

④マッチ、ライターは、子供の手のとどかない所におくこと。

⑤体の不自由な人や老人、子供をこたつに寝かせたまま外出しない。外出するときはじゅうぶん気をつけ、電気こたつはスイッチを切りガス栓はしまっているか必ず確認すること

水道管の凍結を防ぎましょう!!

ちかごろ凍結による水道管の破裂事故がふえています。

これは、水道管が外気さにらされているため、管内の水が外気の気温降下によつて凍り、体積がふえることからおこるものです。

凍結をふせぐためには、ハダカの部分の水道管においをすればよいわけです。

防寒装置は、家庭でも簡単にできますから、次のような所にあるものはぜひ行ないたいものです。

▼屋外にある水道管で北向きの寒いところ

▼風当りの強いところ

▼管がハダカになつているところ

は、毛布や毛製の布きれなどをまきつけ、上に雨水や湿気を通さないようにビニールテープなどをまいてください

屋外にあるものは、さらにわらなどでおおえば、いつそう効果があります。

"とつたねずみが一万三千匹"

ねずみとり名人を表彰

新潟県住みよい郷土建設協会栃尾支部と栃尾市は、さる一月二十四日栃尾保健所でネズミとり優良団体と名人などの表彰を行ないました。

これは、昨年十一月十日から十二月十日までの一カ月間皆さんの協力によつて、ネズミ駆除運動を実施した結果、多く捕殺したかたがたを表彰したものです。捕殺数は、前回を六一パーセントうわまわる一万三千七百八十七匹でした。

表彰された団体、個人は次のとおりです。

▼優良団体（カッコ内は捕殺数）

西中野俣（四、一五五）　菅畑（二、一〇〇）　栗山沢（九四八）　小向（五一八）

会長栃尾支部と栃尾市は、さる一月二十四日栃尾保健所でネズミ九）　平中野俣（一四〇）

▼個人（カッコ内部落名）

名人＝二五〇匹　佐藤勇吉（本所）　準名人＝二〇三匹　杉野甚一郎（栗山沢）　①五九匹　佐藤忠三郎（本所）　②一五九匹　多田源作（栗山沢）　③一三七匹　酒井喜孟（栗山沢）　④一二九匹　井田庄一郎（栗山沢）　⑤一二六匹　佐野万喜雄（山菱谷）　⑥一〇七匹　川上市右工門（小向）　⑦一〇四匹　井田繁三次（栗山沢）　⑧九九匹　金内勝吉（西中野俣）　⑨九八匹　多田栄治郎（栗山沢）　⑩九四匹　山内ハツイ（西中野俣）

簡易保険の加入運動を実施

郵政省では、簡易保険が創業五十周年を迎えるためだいま「五十周年簡易保険新加入運動」を実施しています。

保険料は、皆さんに支払われる間、政府関係機関、地方公共団体などに融資されて、国の経済発展はもとより公共施設の拡充に大きな役割を果しています。

五十周年簡易保険の加入期間は、三月十五日までです。

〔写真は、熱心な成人教育講座受講生〕

公民館だより

服装は簡素に

成人式は四月三日に決まる

成人式が回を重ねるにしたがつて、「経費がかかる」などと成人者や父兄のかたがたからいろいろと意見があります。そのため、公民館では、四十一年度の成人該当者と一部父兄のかたがたのご協力をえた人が大部分でした。それから見れば、「今までどおりがよい」と答えた人が大部分でした。それらの結果をもとに運営審議会で協議しましたところ、四十一年度成人式は、きたる四月三日に栃尾小学校で行なうことにきまりました。

ことしの該当者は、昭和二十年四月二日から二十一年四月一日までの間に生れた人です。現在市内に住んでいないかたでも当日帰つて来て参加したいかたは、農村部では分館に、栃尾地区では栃尾市公民館に参加の申し込みしてください。

現在栃尾に住んでいても「住民登録」をしていない人は該当者であつても案内がもれることがありますから、確かめて下さい。

成人教育講座を実施

成人教育講座を、きたる二月二十日午後一時三十分から栃尾小学校会議室で市内外から講師をたのみ開催します。

ことし成人になられるかたは、こぞつて受講されるようおすすめします。

短歌・俳句などを募集

締切り二月二十日まで

公民館では、毎年行なつてきた春季文芸作品を、次のとおり募集します。詠歌愛好者は、ふるつて応募してください。

1 題　新春自由題とする。
2 種別　短歌、俳句、川柳
3 用紙　できる限り郵便はがきを使用すること。
4 出詠点数　各種とも三点までとする。
5 あて先　栃尾市金町、栃尾市公民館文芸係あて
6 締切日　昭和四十一年二月二十八日
7 賞品　入選作品に賞品を贈る。
8 審査員　交渉中。
9 発表　入選作品以上を公民館で発表します。
10 住所、氏名（本名）をはつきり書くこと、不明りょうのものは審査からのぞきます。
11 出品作品は未発表のものにかぎります。

◎服装は、はでにならないように成人者も父兄のかたも自覚いたしましょう。

成人者の感想文をおよせください

ことし成人としておとなの仲間入りをされる皆さんからの感想文、新らしく人生に処する決意、希望、または、反省文などを募集します。

この感想文は、成人者記念文集として、ことしの成人者と成人式の参加者に配付する予定です。たくさんの応募をおまちします。

▽応募範囲　ことしの成人式該当者

▽原稿枚数の制限、四百字詰原稿用紙二枚から五枚以内

▽締切日　二月二十八日。

▽送り先　栃尾市公民館感想文募集係あて。

投稿者には、記念品を贈ります。

市民かるた大会

二月二十日公民館で

館長杯争奪、第三回市民かるた大会が、きたる二月二十日午後一時三十分から、市公民館で開催します。

この市民かるた大会は、伝統の文化を味わいながら、市民に小倉百人一首を理解していただき、あわせて初心者も育成しようというものです。多数お誘い合せのうえご出席ください。

◇とき　二月二十日午後一時三十分から

◇ところ　栃尾市公民館講堂

◇試合方法、参加者全員を抽せんにより一組四人に編成バラ取り戦を行ない得点数の多い者からA、B、Cの各組に分け、三回戦を行なう。

◇参加申し込み締切日　二月十五日

◇表彰　一位に館長杯並び賞品、以下三位まで賞品を贈る。

学習計画できる

青年学級に入級を

公民館が開設している栃尾中央青年学級では、昭和四十一年度生徒募集のために、学習計画表を作成し、今春、中学校を卒業され実社会に巣立ち行く青少年に入級をすすめています。

この学習計画によると、本年は、一学年の学習時間を二五〇時間とし、三年制を実施することにしました。学習内容も織物産地にふさわしく、栃尾織物の歴史、繊維と織物製造工程、機械の種別、構造操作など今まで不足がちであつた内容をとりあげることにしました。

今春学校を卒業されるかた多数の入級をおまちしております。

なお、事業主および父兄のかたがたには、よろしくご理解をいただきよりよい青少年の育成ができるようご協力ねがいます。

第110号　昭和41年2月10日発行

発行人　栃尾市　新潟県栃尾市　電話（代表）2151番

広報とちあ

昭和32年2月20日第三種郵便物認可　毎月10日発行（定価一部2円）

栃尾市の人口

（1月末現在）
世帯数　7,599
男　17,641人
女　18,998人
計　36,639人
（住民登録人口）

今月の市税

▷固定資産税　第4期分
▷国民健康保険税　2月分

納期　2月28日

「どうぞこちらです……」

庁内案内所を開設

気がるにご利用を

◎体温計・血圧計の無料検査を実施します（とき　二月十七日午前十時から午後三時まで　ところ　市役所）

昭和四十年十二月（第五回）の市議会定例会が、さる十二月二十三日から一月十八日までの二十七日間を会期として行なわれました。ところが会期最終日の十八日になり審議が終らなかつたため、会期を延長し、二十八日に閉会しました。提出された議案は、昭和三十九年度決算の認定、栃尾市市税条例の一部改正、幼尾市契約条例の廃止、昭和四十年度一般会計予算補正、昭和四十年度特別会計予算補正など十五件が、関係常任委員会に付託され委員会審査を経て一月十九日の本会議で、原案どおり可決、または認定されました。このほか、請願二十五件、陳情三件も各常任委員会で審査して本会議で審議され採択か不採択が決定されました。

一般会計補正予算など可決

会期を延長して審議

第五回市議会から

活発だつた一般質問

一般質問は、開会前にあらかじめ連絡のあつた、八木茂助、田中由太郎、平林与一郎、椿明、杵淵衛、棚村守男、稲田正三、今井光隆、桜井藤雄、高橋忠作、羽賀光士の各氏とそれぞれの質問と関連して、ほかの多くのかたがたから土木工事、道路、清掃、公衆衛生、学校教育、市庁舎建設、庁内機構、事務改善と市政全般にわたつて活発な質問がありました。

三十九年度の決算を認定

昭和三十九年度の栃尾市歳入歳出決算が認定されました。

それによると、一般会計の歳入は、六億七千五百七十四万八千四百八十一円、歳出は、五億九千二百七十八万三千三百二十九円、歳入歳出差引残金八千二百九十六万五百四十二円が昭和四十年度へ繰越しました。また、各特別会計の歳入合計は、二億百十五万八千四百五十四円歳出は、一億六千四百三十五万二千七百四十三円、差引残金三千六百八十三円、繰越金八千二百九十六万五百四十二円が昭和四十年度へ繰越しとなつております。（詳細は次号に）

この決算の審議は、それぞれの特別委員会に区分して付託されて審議されたもので、本会議で各委員長からの報告があり、引き続き、監査委員の決算審査の結果承認されたものです。

この決算の認定にあたつて監査委員から予算の執行状態財産の台帳による現地確認に努めるようにとの意見がありました。

税条例の一部を改正

納税証明書の交付手数料は一枚ごとに三十円であつたものを五十円に改めたものです。このほかにも改正されたものがありますが、要点は、地方税法の一部が改正されたのに伴ない、市税条例の一部改正する必要が生じたため改正したものです。

職員給与条例なども改正

栃尾市職員の給与に関する条例が原案可決されました。

これは、人事院勧告に伴なつて給与の改定をしたものです。

おもな改正点は、初任給が一万六千円ふえたことと期末手当の〇、一カ月の引きあげなどです。

また、市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例も改正され、期末手当が〇、一カ月分引きあげられました。

婦人会員が傍聴

多数の傍聴を期待

今回の市議会本会議（第一日目）を栃堀婦人会が一日中傍聴されました。

この日は、活発な一般質問がありましたので、婦人会員も熱心に聞きいつていました。

熱心さのあまり、議員の発言に泊手をして議長から注意をされたこともありましたが、しかし、今まであまり傍聴者が見られず市政への関心が薄いようにも考えられておりましただけにほほえましい一幕でした。

今後、市議会が開かれるときは、この広報紙などでできるだけ事前にお知らせ市民のかたがたもできるだけ傍聴するようにいたしましよう。

〔熱心に聞きいる傍聴者〕

千円などです。

▽公債費　六十一万円。これは、地方債元金の償還金です。

▽議会費　五十四万七千円。内訳は、印刷製本費、旅費などです。

〔歳入〕

財源の内訳は、国からの交付金である地方交付税千三百二十万円、市税増収見込額四百五十六万円、国庫支出金百六十九万九千円、県支出金百五十六万八千円などです。

第六号予算補正

追加額は、四百五十三万三千円です。

これは、人事院勧告によつて国家公務員の給与が引きあげられたので、それに準じて市職員の給与を改定したものです。歳入は、地方交付税があてられます。

特別会計も補正

国民健康保険会計（第二号）

追加額は、百四十万六千円です。これは被保険者の皆さんが医師の診察など受けたときの七割給付分の不足額です。歳入は繰越金をあてています。

上水道会計（第二号）

追加額は、三百七十六万円です。これは、給水拡張工事新設工事請負に伴うものです。歳入は、給水工事受託事業収入三百二十万円などをあてています。

（ガス事業会計（第二号）

追加額は、千五十六万一千円です。

これは、なまガス購入費八百二十一万六千円と工事の受託請負費百五十万円などです。歳入は、ガス使用料八百二十一万六千円と受託事業収入百五十万円などをあてています。

伝染病院会計（第二号）

追加額は、二十万円で、これは患者発生による委託料です。歳入は繰越金をあてています。

採択された請願と陳情

〔請願〕

▽下塩小学校体育館並びに校舎新築＝下塩小学校後援会

▽上塩小学校児童通学路新設並びに通路舗装＝上塩小学校PTA会長▽ステージ建設＝荷頃中学校後援会▽上塩谷分校屋内体育館建設＝栃尾高校上塩谷分校PTA会長▽栃尾市体育協会栃尾局職員給与助成＝栃尾市体育協会長▽山田地内市道（そばかめ小路）の整備と側溝の補強＝山田区長▽五カ村江の船つた新町、田地内の市道の溝上げと幅員の拡張促進＝新町区長▽山田地内に排水路の新設とこれに関連して現存する水路側溝の改修＝山田区長▽山田地内より暗渠で栃尾郷病院裏に通ずる水路の公用廃止反対＝山田区長▽部落間市道開設＝半蔵金、西中野俣区長▽下塩小学校通学道路新設＝下塩小学校後援会▽市道沖布塩新町線拡張＝大野原区長▽地内江川改修工事＝東町区長▽水路及び土堤の改修＝大川戸区長▽市道繁窪吹谷線の改良工事＝繁窪区長▽向山橋架替＝中森上、吹谷区長▽側溝整備＝新町区長▽市道栃堀大川戸線弘張＝栃堀区長▽市道新設＝原区長▽江川の氾濫防止対策＝天下島区長▽産業助成金交付＝栃尾商工会▽営農指導事業強化に伴う産業助成金＝栃尾農業協同組合営農委員会委員長〔陳情〕▽小、中学校の校地買収＝半蔵金区長

都市計画税還付金の寄付のことについてお礼とお詫び

都市計画税還付金の寄付につきまして、特別のご協力をいただきたいへんありがとうございました。

この都市計画税を還付し、寄付いただくことにつきまして、都市計画税の納付者であつたかたに、いつたん返金して改めて寄付（栃尾中学校の特別教室の建築のため）をお願いすることに市議会にはかつてすすめてまいりましたその後関係地域の市議会議員とPTA会長の合同会議を開き協議いたしまして、それぞれ還付書を作成し、区長さんを通じて配付いただく、その際ご寄付いただくようお願いした次第です。この間事務的な面で不備の点があり、ご寄付いただいたかたに失礼な点があつたことをふかくお詫び申しあげます。

ご寄付いただきましたみなさんには心からお礼申しあげるとともに今後ともなにかとご協力くださるようお願い申しあげます。